

ペットは私たちの生活に潤いと安らぎをもたらしてくれます。ペットの存在が、家庭内や隣人との会話を増やして人間関係を円滑にしたり、子どもたちに自分より弱いものに対するいたわりの心や、命を預かる責任の重さと命の大切さを教えたりするだけでなく、ペットに触れることで血圧が下がったり、表情や感情が豊かになり心が落ち着くなどの心身の健康への効果もいわれています。

今やペットは、一方的に愛情を注いだり姿やしぐさを楽しむためだけの存在ではなく、ともに暮らし、時には心を通い合わせる人生のパートナーとなってきました。

しかし、その一方で、間違った飼い方をしたために、動物の存在が逆にストレスやトラブルの元となっ



たり、アレルギーなど様々な病気の原因になる事例も多発しています。

ペットを飼うことは、その一生を責任もって面倒を見ることです。ペットは私

たち人間と同じように、命ある存在です。毎日食べ、排泄し、眠り、運動し、その世話は休みなく続きます。ペットは意志と感情を持ち、飼い主の思い通りになりません。ペットの起こしたトラブルは、全て飼い主の責任です。

ペットを飼うのに愛情はもちろん必要ですが、「かわいい」という気持ちだけでは生き物は飼えません。ファッションや流行、思い込みや擬人化ではなく、自分が最後まで責任をもって飼えるのか、飼い始める前によく考えましょう。



ペットを飼えなくなるケース

ペットを手放す理由にはこんなケースがあります。

あなたは大丈夫ですか？

File01 引越で飼えなくなった

転勤が決まり、転居しなくてはならなくなった。経済的な事情からペット可の物件にするのは無理。



File02 ペット禁止の集合住宅で飼っているのが見つかった

ペット禁止のマンションでこっそり犬を飼っていたが、ばれてしまい、管理組合から退去するか処分するかかの通告が来てしまった。



File03 子どもにアレルギー症状がでた

ねこを飼っているが、家族に赤ちゃんが生まれたら皮膚に炎症が出るので検査したところ、ねこの毛に対するアレルギー反応であることが判明した。



File04 近隣から苦情がきた

犬が吠えてうるさいと隣の人からいわれてしまった。忙しくてしつけをする時間がなく、世間体もあるのでこれ以上飼い続けられない。



File05 子どもが生まれるので世話をする時間がない

夫婦と子ども1人で犬を飼っていたが、今度第2子が生まれることになり、出産後は犬の世話まで手が回らない。



File06 高齢になったペットの介護が重い負担に

高齢の犬の介護を何年も続けてきたが、飼い主も高齢で病気があり、経済的にも体力的にも続けるのが難しい。



File07 病気で世話ができなくなった

高齢の親が犬を飼っていたが、病気で世話をすることができなくなった。同居の息子は仕事が忙しく、犬嫌いなので面倒をみてくれない。



File08 飼い主が亡くなった

一人暮らしの母親がねこを飼っていたが、亡くなってしまった。子どもたちはみなペット不可の住居なので飼うことができない。

